

KSKS かがやき



ひかり福祉会広報 vol.85 2012 紅葉号



焼き菓子&coffee shop オープン!

彥華堂

詳しくは…
7ページへ



◆連絡先◆

〒526-0822

滋賀県長浜市鳥羽上町68-1

ひかり福祉会 法人事務センター
(TEL: 0749-63-5711)

e-mail info@hikari-welfare.net

URL <http://www.hikari-welfare.net/>

◆編集人◆

社会福祉法人

ひかり福祉会 後援会

ひかり福祉会

新役員のご紹介

理事長就任の挨拶と抱負

滋賀県長浜市で、何の制度も無い中で自宅から通える作業所づくり運動をはじめたのは昭和50年のことでした。学校にも行きず、自宅にかくまわれていた重い障害のある仲間たち数人で始まつた共同作業所づくり運動は、働く中で目を輝かせて生きいきとたくましく発達する仲間たち自身の姿に押され、野火のようになど内外に広まっていきました。

この間、働く中でたくましく成長していく仲間たちを頼もしく見守つていてご両親もやがて高齢化が進み、親亡き後の自立への取り組みは家族会などと力を合わせ生活ホームづくり運動へと発展していきました。

そして今では作業所で働き、自宅やホーム等での自立生活が見え始めて安心したのもつかの間、今や仲間たち自身の高齢化が大きな課題となつてきていい

ます。

この間、私たちが大切にしてきたことは故糸賀一雄氏の「こ子らを世の光に」できる社会をつくることであり、その源は「福祉の思想」「発達保障」です。

不透明な時代ですが、どこまでも仲間たちのねがいを真ん中に「福祉の思想」「ひかり福祉会のめざすもの」に、なお一層みがきをかけ、力をあわせ、新しい時代を切り拓いていきましょう。

この度、無認可時代から37年間、今まで仲間たちと共に歩んできた私がひかり福祉会の理事長を仰せつかりました。

これまでの田中浩蔵前理事長の大功績に感謝申し上げますと共に、微力な私ですが精一杯尽力させて頂きますのでよろしくお願い申し上げ、ご挨拶とします。

就任することとなりました。

後援会の代表として立候補させていただき、提言および後援会としてどの様な支援が望ましのかを見つけて行きたいと考える次第です。

評議員 後藤健二
(ひかり福祉会後援会会长)

任期：一〇一年一〇月一日～一〇三年一〇月一日

理事長辞任の挨拶

秋冷の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて私こと、この度一身上の都合により十月二十六日に開催された理事会で理事長を辞任いたしました。

在任中は永年にわたり格別のご懇情を賜り御陰をもちまして重責を大過なく果たし得ましたこと心より深く感謝申し上げます。

又、後任には立岡 晓が就任いたすことになりましたのでこれまで同様にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹んでお礼方々、ご挨拶申し上げます。

理事 田中 浩蔵

この度、ひかり福祉会の評議員に就任いたしました。まだまだ若輩ではありますか、皆様方にご迷惑をかけぬよう頑張ります。よろしくお願ひします。

評議員 森本義彦
(セルフひこねセンター長)



理事長 立岡 晓



障害者政策委員会とは・・・

私たちの役割って？

これまで障害者自立支援法の廃止、そして障害者制度改革推進会議（以下、制度改革推進会議）の総合福祉部会の骨格提言を作成を経て、結果的に成立したのは「障害者総合福祉法」ではなく、骨格提言が全く反映されていない「障害者総合支援法」の成立でした。

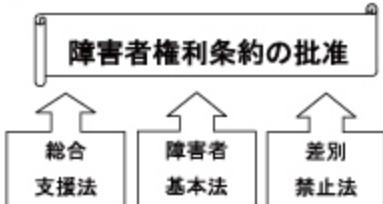
こういった障害者制度の変遷の中で、新たに立ち上がったのが「障害者政策委員会」（以下、政策委員会）です。この政策委員会は、昨年に改正された障害者基本法に正式に位置づけられた組織で、これまでの制度改革推進会議で掲げられた「私たちのことを私たち抜きに決めないで」という考え方を現実のものとするために新たな障害者基本計画のあり方について、審議や

意見提出を行うとともに、計画の実施状況の監視や勧告を行う強い権限を有しています。

以前の制度改革推進会議と大きく異なる点は、構成メンバーの変更があげられます。制度改革推進会議の主な構成メンバーは学識者と呼ばれる方がほとんどでしたが、今度の政策委員会の構成メンバーの過半数は障害当事者と家族です。またこのメンバーカーの中に全国知事会の代表

「労働」「雇用」「施設の在り方」など、未解決の問題は山積み・・・。

解決する具体的な施策を検討していこう！



私たち一人ひとりの
意識を変える！

障害者基本法、障害者総合支援法、そして差別禁止法、この三本柱をそろえると障害者権利条約の批准に向けて次のステップに動いていきます。現在、障害者政策委員会と同時に差別禁止部会での差別禁止法の制定が進んでいますが、本当に次のス

テップに行くためには現状の障害者基本法、総合支援法、差別禁止法でいいのだろうか？と思わざるを得ない状況です……

【話し手】

小野幸弘専務理事

藤居潤（ひかり園）

として滋賀県知事の嘉田知事が入った事は滋賀の私たちには大きな事だと思います。

や気持ち、さらには願望などをしっかりと知事に伝えていかなければならぬ役割を担っています。その為には10・31のような活動、署名活動、そして議員等へのロビー活動といった運動が重要になってきます。

障害者基本法、骨格提言実現に向けての検討を具具体化していくしかねばなりません。障害者に対する社会の意識レベル、そして私たち一人ひとりの障害者に対する意識レベルを変えていくことが今、問われています。

例えば、作業所で働いている仲間は「労働者」なのか「利用者」なのか？今の段階では作業所で働く仲間は「労働者」に必要な幾つかの条件は満たしておらず、「労働者」として認めてもらえていません。このように労働といった問題一つをとっても今後の総合支援法は国際基準をクリアしていくません。作業所で働く仲間を「労働者」とするにはどのような具体策が必要か？さらには広げると、雇用の問題、施設の在り方など未解決の課題は山積みであり、私たちは骨格提言実現に向けての検討を具具体化していくしかねばなりません。

【コードイニター】
都瀬元章氏（桜井計画監定委員会委員長）【シンポジスト】
加藤直樹氏（立命館大学名曾教授）
(きょうされん滋賀支那理事長)

みんなで語る

『夢』と『明日の福祉』

ひかり福祉会

第5次将来計画策定

公聴会（シンボジウム）

ひかり福祉会の第5次将来計画策定に向けての公聴会を10月10日、米原公民館にて開催しました。ひかり福祉会はS63年の第1次将来計画から現在の第4次将来計画まで常に計画に沿って事業展開をしてきました。しかし、ご存知の通りH18年4月から施行された障害者自立支援法により先を見通しにくい状況下での計画推進です。そのため第5次将来計画では

第4次計画を踏まえた上で、私たち現場の声を何よりも大切にし、利用者や家族の方の願いに応えられるよう検討していきます。

加藤氏

嘉田知事も障害者政策委員会に入つておられ、全国からの期待も滋賀県は大きい。ひかり福祉会には必要な制度を変えるための提起を積極的にしてほしい。また地域住民のニーズを把握することだけでなく障害者福祉や他分野との共同連携を図り制度改革を進めてほしい。

く障害者福祉や他分野との共同連携を図り制度改革を進めてほしい。また地域住民のニーズを把握することだけでなく障害者福祉や他分野との共同連携を図り制度改革を進めてほしい。

後藤氏

ゆたか福祉会も莫大な負債や労働組合などの大きな問題を経て、現在、第5次の計画づくりを行っています。その中で

加齢・高齢化への対応や第3世代へのバトンタッチについても検討している。特に高齢化への対応は現在のグループホームでは難しく、喜びを持つための環境づくりも必要となると思う。

Q「社会福祉法人の規模の適性

は？」

加藤氏 組織規模に応じて仕組みを変えないといけない。行政などはスケールメリットを活用して、できるだけ大きな規模が良いという風に言っている。また規模が小さいと理事や職員の視野が限られてしまふため、組みをどうするかが重要。

Q「ひかり福祉会では、今後5年経つと80歳を超える利用者が出てくる中で看取りや共同墓地が必要になつてくるのか？」

加藤氏 県内では東近江の園域で障害者の地域生活を支援するシステムづくりのためのモデル事業を医療の問題とか介護の問題と結びつけながら今後どうしていくのか検討をしている。

後藤氏 看取りの問題だが、ゆたか福祉会も新たに希望の家という施設をつくり、12名の利用者を看取った。創設して20年経つと急激に利用者の加齢化という問題が出始めた。それにより新たな班を立ち上げた。でも30年を超えると加速度的に加齢化・高齢化の状況が生まれ、のんびりしてきたその班に対して、次は介護が必要な班となつた。ホームでも同様の問題が顕著になつている。身体の変化や老いを受け止められない利用者にどうやって理解してもらいうようにしていけばいいのかは大きな課題だと思っている。

Q「作業所の給料を上げるために何をしたらいいのか？」

後藤氏 ゆたか福祉会も1万2千円くらいが作業所の平均となつていて、障害のある人でもできる仕事をという観点から下請け作業中心になるが、単価も低く工賃アップは期待できない。

下請け中心の発想を変え、事業と障害のある人の仕事をリンクさせることの大手である工夫だと思う。

アンケートの結果

○利用者の願い

・仕事や給料がもっと欲しい。

・困った時に助けて欲しい。

・障害年金を上げて欲しい。

○ご家族の願い

・障害の重い利用者に対応してくれる場所の確保。

○施設整備

・高齢化に特化した事業所の創設とケアが整つた環境整備。

・施設の不備に対する増改築の要望や重度の利用者に特化した生活介護事業所。

・「災害対策」の検討。

○職員の願い

・利用者が安心して暮らせる型ホームの新設。

・高齢化に対応できる体制づくりや居宅介護事業（有償移送含）の創設、働きがないある作業所づくり。

・A型事業所の新設、障害特性に見合った支援の必要性。

・今後の課題

・施設整備の検討

・性別による支援の必要性。

・高齢者対策

・地域との連携

・人材育成と財源確保

・行政プランとの連携



Q 「名古屋市のグループホームの制度は?」

後藤氏 名古屋市はホームの加算制度があり、障害の程度区分に応じて1日利用することに3千円の加算をつけていく仕組みがある。実績に応じてだが制度のないところに比べ、1.5倍ほどの運営費が最低限担保されている。

Q 「名古屋市のグループホームの制度は?」

後藤氏 名古屋市はホームの加算制度があり、障害の程度区分に応じて1日利用することに3千円の加算をつけていく仕組みがある。実績に応じてだが制度のないところに比べ、1.5倍ほどの運営費が最低限担保されている。

Q 「これからの夢は?」

三橋氏 電子辞書を買いに行きたい。それができる環境にしてほしい。

Q 「ひかり福祉会に対する要望はありますか?」

谷口氏 居宅介護事業をしてほしい。娘が4時に帰宅するが、どうしても都合のつかない時もあるので、そんなときにぜひ助

Q 「ひかり福祉会に対する要望はありますか?」

谷口氏 居宅介護事業をしてほしい。娘が4時に帰宅するが、どうしても都合のつかない時もあるので、そんなときにぜひ助

Q 「要求を実現するために何が必要か、どんな努力をしなければならないのか。」

橋本氏 皆さんの願いを、法人の努力でできること。制度的に市、県、国へ要望しないといけないことに整理もしながら、例えば、重い障害があつてもホームで暮らしていくための制度が必要との声も上げていかなくてはいけない。

Q 「要求を実現するために何が必要か、どんな努力をしなければならないのか。」

橋本氏 皆さんの願いを、法人の努力でできること。制度的に市、県、国へ要望しないといけないことに整理もしながら、例

Q 「利用者から長く暮らせるホームの希望がありますか。」

橋本氏 今のホームではバリアフリーのホームが少なく生活しづらい。また看護師の配置も難しい。今後はバリアフリー化、医療との連携も含めて検討しなければならない課題。

Q 「利用者から長く暮らせるホームの希望がありますか。」

橋本氏 今のホームではバリアフリーのホームが少なく生活しづらい。また看護師の配置も難

Q 「居宅介護事業のニーズが多いのですがいかがですか?」

橋本氏 利用者からは、家で暮らしたいという願いが多く寄せられたし、土・日・日、通所施設から帰った後の支援の要求に応えるためには実現したい事業だ。

Q 「利用者から長く暮らせるホームの希望がありますか。」

橋本氏 今のホームではバリアフリーのホームが少なく生活しづらい。また看護師の配置も難

けて頂きたい。

Q 「公聴会を締めくくるにあたり、シンボリストの方々に将来計画に対する期待を語っていただきたいと思います。」

加藤氏 三橋さんのお手元のアルバイト料が月の給料と6千円にしてほしい。なんて1

Q 「公聴会を締めくくるにあたり、シンボリストの方々に将来計画に対する期待を語っていただきたいと思います。」

加藤氏 三橋さんのお手元のアルバイト料が月の給料と6千円にしてほしい。なんて1

Q 「私の娘は利用者に対するアンケートを出されても答える

谷口氏

Q 「みんながイキイキできる環境づくりをしてほしい。」

三橋氏

Q 「将来計画にチャレンジして行きのではなかいか。」

Q 「利用者の思いは「安心して利用できるショートステイの場がほしい」「将来安心して暮らせるホームがほしい」「高齢なので家庭でヘルパーさんを利用したい」というように願いは、ひかり福祉会のアンケートと同じである。高齢化の問題にどう対応するか、新しい試みから次への計画にチャレンジして行きのではなかいか。」

後藤氏 ゆたか福祉会も家族や利用者の思いは「安心して利用できるショートステイの場がほしい」「将来安心して暮らせるホームがほしい」「高齢なので家庭でヘルパーさんを利用したい」というように願いは、ひかり福祉会のアンケートと同じである。高齢化の問題にどう対応するか、新しい試みから次への計画にチャレンジして行きのではなかいか。



【シンポジスト】
谷口裕美氏(障害者代表)



【シンポジスト】
橋本文男氏(ひかり福祉会常務理事)



【シンポジスト】
後藤 強氏(ゆたか福祉会常務理事)



【シンポジスト】
三橋絹子氏(利用者代表)

橋本氏 将来計画をどう実行していくかが大きなポイントとなる。利用者・家族・職員等が計画を共有すること。法人全体の計画だけでなく、計画遂行のため事業所ごとに具体的な目標を掲げながら半年・1年ごとに利用者・家族・職員で確認していく。ながら進めて行くことも必要ではないか。

られないし、字も書けません。読むこともできません。ただ作業所が大好きで仕事が好きで通うことが生きがいです。その生きがいをなくさないで下さい。

4月から始まりました策定委員会は、来年の2月くらいまで議論を積み重ねていき、来年の3月には報告書としてまとめ、ひかり福祉会として決定手続きします。公聴会の話を聞いてみると本当に胸が熱くなる思いがして、必ずこれを形に変えます。

4月から始まりました策定委員会は、来年の2月くらいまで議論を積み重ねていき、来年の3月には報告書としてまとめ、ひかり福祉会として決定手続きします。公聴会の話を聞いてみると本当に胸が熱くなる思いがして、必ずこれを形に変えます。

被災地は今：

いまだ復興の目途立たず

『心』通う訪問調査

りはありません。困ったことがあつても、自分から発信することができない人に対して、支援者の方からアプローチしていくことの必要性を痛感させられました。

調査をすすめる中で、気付けなければいけないと思ったのが、ただ単に調査用紙の内容を聞き取りするだけでなく、時間はかかるにせよ、一人ひとりの話をしっかりと聞くことだと感じました。中には雑談めいたこともありますたが、その中から話をしてからと聞くことだと感じました。

岩手県や福島県では人的支援がまだ継続して求められています。そして宮城県では「きらら女川（作業所）」の12月再建を目指して支援を求めています。「復興」にはまだまだ「時」が必要です。そして多くの「人」の支援が必要です。



津波に耐えた『奇跡の一本松』

D 8月23日～29日の一週間、J Fいわて支援センターでの活動に参加しました。陸前高田市内の障害者手帳を持している方の家を一軒ずつ訪問し、調査するという活動内容で「震災時の避難の状況」や「現在の生活実態の把握」が主な目的です。5日間で約60件の訪問をしましたが、そのうち話をすることができるのは20件程度です。家が流出している、外出中で不在、外出中の家はあるが住んでいる気配がない等の理由で話をうかがうことになりました。また、そのうち話をすることができるだけのケイスも多くありました。

今回、私が担当した地域は高田町で、比較的、都市部に近く、津波の被害を直接受けた地域です。家中まで浸水してきたという方や家のすぐ近くまで水が押し寄せてくるのを見ていたという方でも多くおられました。調査の中では家族や知人を亡くしたこと、遺体がある横を通り必死に家族に会いに行つたといふなど、当時の話を聞く中では、本当に心の痛む思いになること

もありました。市の委託で調査に来たとはいっても、はつきりと思いつかなかったことや自分が感じたことを、丁寧にまた一生懸命に話してくださる方もおられ、この地域の人の温かさを感じることができました。

今回の調査において私が一番実感したことは支援者の積極的な関わりの大切さです。一つ訪問する中で、たどえその人に困ったことがあっても「自分には家も残り、恵まれていら、ぜいたくは言えない。」など、言葉を口にする少なかつたにしても、その人には変わることにはあります。

復興に必要なこと…

支援募金は…

口座名義：きょうされん自然災害支援基金口
口座番号：00100-7-86225



被災地に咲く一輪の“ひまわり”

コト一支援センター

加藤一貴

自分たちの行動が少しでも復興につながるのであれば、自分たちの想いで、みんな一緒に頑張つていきましょう！

岩手県や福島県では人的支援がまだ継続して求められています。そして宮城県では「きらら女川（作業所）」の12月再建を目指して支援を求めています。「復興」にはまだまだ「時」が必要です。そして多くの「人」の支援が必要です。

被災地支援は現地でなければなりません。そこで多くの「人」の支援が必要です。

OPEN!

彦華堂OPEN!



彦華堂

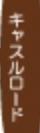


彦根市内の夢京橋キャッスルロードから少し入った場所に10月5日、焼き菓子＆カフェ彦華堂（旧布庵の場所）がオープンしました。

域のイベントなど積極的に参加し、口コミによる知名度アップ、シェア拡大をはかつてていきます。



彦華堂（旧布庵）



キャスルロード

【彦根城】

営業時間 10:30 ~ 16:00

定休日 水曜日・木曜日

店舗 彦根市本町1丁目7-4（旧布庵）

TEL (0749) 26-3214

この度、社会福祉法人 清水基金様から助成をいただき、障害のある方たちを迎送所している利用者さんも大変喜んでいます。ありがとうございました。

助成金額
総事業額
車両名
事業実施主体

1. 700,000円
2. 688,796円
ハイエース送迎仕様車
社会福祉法人ひかり福祉会
セルフひこね



◆助成事業完了の報告◆

ひかり福祉会及び各事業所への

御寄附ありがとうございました(2012年7月1日~2012年10月31日 敬称略・五十音順掲載)

関西ハム 北郷里学区民生委員児童委員協議会 きょうされん和歌山支部
 滋賀短期大学(株)タナカ トップ・ワン豊郷店 長浜市老人クラブ連合会
 株式会社ネオテック ひかり園・輝湖里職員一同
 ひかり園・横山まつり実行委員会 ひかり福祉会後援会 彦根市里根町自治会
 彦根市社会福祉協議会 彦根ライオンズクラブ 株式会社メリーデイズ
 ランジェリーキヌコ HEART WORK結職員一同

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 井上 雪美 | 北川 信雄 | 杉本 正一 | 長澤 政弘 | 樋水 | 宮川 鈴香 |
| 居林 浩 | 桐山まきえ | 田中 紗子 | 中川由紀子 | 福本 又治 | 宮川 登 |
| 臼杵 孝 | 木村 千絵 | 田中さざ美 | 中村 安夫 | 藤井あゆみ | 山本まどか |
| 奥村佐生利 | 上坂 佐絃 | 田中 佐和 | 成内 | 藤井 裕三 | |
| 尾崎 則子 | 小林 伸也 | 田中智比呂 | 西浦 正和 | 伏木 亜希 | |
| 押谷 治郎 | 酒井助太郎 | 田中 義孝 | 西嶋 聰子 | 藤田 達也 | |
| 小野 清美 | 澤 和彦 | 谷澤 怜裕 | 西田 忠司 | 藤田 久子 | |
| 片山 博司 | 柴田美和子 | 丹部 正道 | 西村 勝己 | 古川 千春 | |
| 片山 | 柴田 欣則 | 土川 弘子 | 西村 正輝 | 堀江 準子 | |
| 川瀬 源信 | 塩飽登茂子 | 寺山みち子 | 東森 律子 | 牧村 徹 | |
| 木村 政雄 | 杉谷 美雪 | 長崎 純一 | 疋田 寛治 | 松田 直也 | |

社会福祉法人ひかり福祉会

《日中活動》

(湖北圏域) ひかり園、輝湖里、ひので作業所、友愛ハウス、ワークセンター 純

(湖東圏域) たんぽぽ作業所、セルプひこね、HEART WORK結、工房ふれっしゅ、彦華堂

《ケアホーム&グループホーム》

(湖北圏域) びわ、どんぐり、長浜かざぐるま、長浜里の家 米原董の家

(湖東圏域) ひこねたんぽぽ、ひこね芹川、ひこねわたぼうし ひこねひまわり、ひこね七里

《日中一時支援・短期入所》

ひかり園、ひので作業所 ショートステイとまと

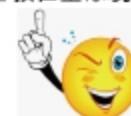
《相談支援》

障害者支援センターそら
働き・暮らしコトー支援センター

編集後記

あんなに暑かった夏もいつのまにか終り、朝夕の涼しさを感じる紅葉の季節に入りました。

国内ばかりか険悪状態の中国や韓国の影響も受けてさらに不景気風がこれから拍車をかけそうです。決めるべきものが決まりない。使うべきところに使われない。こんな不合理なことはごめんです。ここでピシッと救世主は現れないものでしょうか。



やまだ

発行人：関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

編集人：社会福祉法人 ひかり福祉会 長浜市鳥羽上町68-1

定価：30円